

[東北復興支援ウイークについて]

- 愛知芸術文化センターでは、先だってお知らせしたように、7月9日から愛知県美術館で、東北復興支援特別企画の「棟方志功 祈りと旅」展を開催いたしますが、さらに、7月20日（水）から26日（火）までの1週間を、「東北復興支援ウイーク」として、全館挙げての催しを展開いたします。
- 具体的には、7月20日（水）と21日（木）の2日間、愛知出身又は愛知県立芸術大学にゆかりがあり、国内外で活躍中のアーティストたちによるチャリティコンサートを開催します。出演者はすべてボランティアで参加いただきます。入場料は無料ですが、お一人500円以上の義援金のご寄付をお願いし、被災地の芸術文化支援に役立たせていただきます。
- この他にも、東北を題材とするドキュメンタリー映像の上映、被災地の復興を題材とする報道写真展など、館内各所で様々な催物を行います。
- ぜひ、多くの皆様のご来場をいただきたいと思います。

平成23年6月20日（月）

愛知県県民生活部文化芸術課振興グループ

担当：陣内・岡田・犬飼

県庁内線：2459・2460

電話：052-954-6183

愛知芸術文化センターは東北の芸術文化復興を支援します

【東北復興支援ウィーク 7月20日（水）～26日（火）】

愛知芸術文化センターでは、7月20日（水）から26日（火）までを「東北復興支援ウィーク」とし、その期間を中心にチャリティコンサートを始めとする様々な事業を展開して、東北の芸術文化復興を支援します。

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災によって、東北地方を中心とする美術館・博物館や文化施設も大きな被害を受け、多くの芸術文化関係者が被災して、その活動が困難になっています。被災地域の復興のために様々な支援活動が展開されている中で、愛知芸術文化センター10階愛知県美術館では、7月9日（土）から東北復興支援特別企画「棟方志功 祈りと旅」展を開催するほか、**7月20日（水）から26日（火）までを「東北復興支援ウィーク」とし、その期間を中心にセンター内でチャリティコンサートを始めとする様々な事業を展開して、東北の芸術文化復興を支援します。**

記

愛知芸術文化センター「東北復興支援ウィーク」の事業一覧

愛知県芸術劇場 コンサートホール (4階)	<p>【東北復興支援チャリティコンサート】 <別紙1> 『吉田文&平山素子 オルガンとダンスの華麗な競演 ～愛知出身アーティストによる復興への祈り～』 国内外で活躍するオルガニスト吉田文と日本のダンス界をリードする平山素子の競演。 ○7月20日（水） 19時開演（18時30分開場） ○入場無料 自由席（満席の場合は入場をお断りいたします。） （義援金としてお1人500円以上のご協力をお願いいたします。） ○義援金は被災地の芸術文化支援のために用います。※</p>
愛知県芸術劇場 コンサートホール (4階)	<p>【東北復興支援チャリティコンサート】 <別紙2> 『とどけ！あいちの祈り、音の翼にのせて ～<愛知県立芸術大学>にゆかりあるアーティストとその仲間たち～』 愛知県立芸術大学にゆかりのあるアーティストやその仲間が集まり、あいちから東北に向けた祈りの声を音楽にのせて届けます。 ○7月21日（木）18時45分開演（18時開場） ○入場無料 自由席（満席の場合は入場をお断りいたします。） （義援金としてお1人500円以上のご協力をお願いいたします） ○義援金は被災地の芸術文化支援のために用います。※</p>

<p>アートスペースE、F (12階)</p>	<p>『東北復興支援チャリティ映像上映会』 <別紙3> 被災地でのワークショップを撮影した短編映画作品と岩手県北上市岩崎地区に伝わる民俗芸能「岩崎鬼剣舞」を記録したドキュメンタリーを合わせて上映します。 ○7月23日(土) 14時、18時 24日(日) 14時 ○入場無料(義援金のご協力をお願いいたします。) ○義援金は被災地の芸術文化支援のために用います。※</p>
<p>アートプラザ(B2階) 他</p>	<p>『東日本大震災報道写真展～声、届け。ともに歩む～』 被災地の復興を題材とする報道写真展(朝日新聞社提供) ○期間:7月20日(水)～26日(火)</p>
<p>アートライブラリー(1階)</p>	<p>「棟方志功祈りと旅」展関連展示、東北地方ゆかりの美術作家資料展示</p>
<p>美術館ミュージアムショップ(10階) アートショップ (B2階)</p>	<p>東北復興支援チャリティ・グッズ、東北の芸術文化施設のグッズ、工芸品などを販売。</p>

※ 義援金は、公益社団法人企業メセナ協議会の「東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)」を通して、被災地の芸術文化活動の支援にあてられます。

【関連事業】

<p>愛知県美術館ロビー (10階)</p>	<p>『プレ・コンサート 東北復興支援チャリティー <別紙4> とどけ!あいちの祈り、音の翼にのせて』 ○7月9日(土) 15時 ○入場無料 ○「棟方志功 祈りと旅」展開会日にあわせ、歌と弦楽四重奏による名曲コンサート(演奏:愛知県立芸術大学院生等)</p>
----------------------------	---

【東北復興支援チャリティコンサート】

『吉田文 & 平山素子 オルガンとダンスの華麗な競演』

～愛知出身アーティストによる復興への祈り～

国内外で活躍中の若手オルガニスト吉田文が日本のダンス界をリードする平山素子と競演。荘厳華麗なオルガンとともに、平山素子がオルガンをバックに「復興への祈り」を込めて踊ります。なお、2人ともボランティアとしての出演で、会場での義援金は被災地の芸術文化支援に充てられます。

＜開催日時＞

2011年7月20日(水) 18時30分開場 19時開演

＜開催場所＞

愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知芸術文化センター4階)

＜主催＞

愛知芸術文化センター、財団法人愛知県文化振興事業団

＜入場料等＞

無料・全席自由

義援金として入場時にお1人500円以上のご協力をお願いいたします。

満席の場合は入場をお断りいたします。

未就学児の入場はお断りいたします。

《プログラム》

ジャン・アラン作曲: 連禱

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ作曲 G線上のアリア

《管弦楽組曲第3番》BWV1068より 編曲:ジクフリッド・カルク＝エラート

主よ人の望みの喜びよ 編曲:モーリス・デュルフレ

溝上日出夫作曲: 舞曲 雲中供養菩薩

高田三郎作曲: 子守歌 《ピアノのための五つの民族旋律》より

かくま狩り 《ピアノのための五つの民族旋律》より

編曲:トーマス・マイヤー＝フィービツヒ

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト作曲: アヴェ・ヴェルム・コルプス

編曲:フランツ・リスト

アントニン・ドヴォルザーク作曲: ラルゴ《交響曲第5番「新世界」》より

編曲:エドウィン・ルメア

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ作曲: トッカータとフーガ ニ短調

レオン・ボエルマン作曲: 聖母への祈り《ゴシック組曲》より

トッカータ《ゴシック組曲》より

オリヴィエ・メシアン作曲: 栄光を受けたからだ~復活したいのちの七つの短い幻影より
※ダンスとの競演曲は現在調整中

<出演者プロフィール>



吉田文 Aya Yoshida <http://www.aya-yoshida.de/>

名古屋生まれ。幼少より、オルガニストを志し、中学卒業と同時に単独渡独。ケルン国立音楽大学カトリック音楽科並びにパイプオルガン科を卒業。A級カトリック教会音楽家国家資格及びドイツ国家演奏家資格取得。

バーターボルン大聖堂オルガニスト常時代理を経て、1995年より2006年までケルン南部司牧地区教会音楽家として勤務。典礼音楽の総責任者、コンサートシリーズの企画・運営、教会音楽フェスティバルの総監督としても活動。独自の企画による2枚組CD「Streiflichter」は多くの現地専門誌で高得点を得るなど、その芸術的価値は多大な注目を浴びた。2010年には「Ave Maris

Stella〜めでたし、海の星」をリリース。現在はケルンと名古屋に在住。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を行っており、各地のオルガンコンサート、フェスティバル等に招聘されている。南山大学エクステンションカレッジ講師。「名古屋オルガンの秋」「教会音楽フォーラム」主宰。



平山素子 Motoko Hirayama www.motokohirayama.com

愛知県出身。ダンサー、振付家。筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授。

洗練されつつ開拓心を失わないダンサーとしてこれまで多くの称賛を浴び、静謐さと昂揚を自在に奏で異次元の世界へ誘う作風は観客から高く支持されている。主な活動は2005年兵庫県立芸術文化センター開館記念公演にてニジンスキー振付初演版『春の祭典』にいけにえの乙女役で主演。06年ポリショイ劇場バレエ団にて『Revelation』をS・ザハロワに振付。新国立劇場では07年『Life Casting—型取られる生命—』で朝日舞台芸術賞を受賞、08年『春の祭典』では斬新な構成と演出、高い芸術性が評価され芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。10年には『兵士の物語』

で最新作を発表し好評を博すなど、近年振付家としての評価も高まっている。

一方、自身の創造の源であるソロ活動では、他ジャンルのアーティストとの共演により、08年フランクフルトと上海で『DANAE—Sonzai Design』を上演、10年あいちトリエンナーレでの作品発表など、多くのアートフェスティバルにも参加。また、シンクロナイズドスイミングでの振付協力も行うなど、日本のダンスシーンをリードする存在である。

【東北復興支援チャリティコンサート】**『とどけ！あいちの祈り、音の翼にのせて』****ー＜愛知県立芸術大学＞にゆかりのあるアーティストとその仲間たち**

国内外で活躍する愛知県立芸術大学にゆかりのあるアーティストやその仲間が集まり、あいちから東北に向けた祈りの声を音楽にのせて届けます。出演者はチャリティの趣旨に賛同し、各地からかけつけていただきます。すべてボランティアとしての出演で、会場での義援金は被災地の芸術文化支援に充てられます。

＜開催日時＞

2011年7月21日(木) 18時開場 18時45分開演

＜開催場所＞

愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知芸術文化センター4階)

＜主催＞

愛知芸術文化センター、財団法人愛知県文化振興事業団

＜後援＞

愛知県立芸術大学音楽学部同窓会

＜企画・制作＞

中村ゆかり

＜入場料等＞

無料・全席自由

義援金として入場時にお1人500円以上のご協力をお願いいたします。

満席の場合は入場をお断りいたします。

未就学児の入場はお断りいたします。

《プログラム》

司会: 中村ゆかり

第1部

ピアノ: 大瀧拓哉

ショパン作曲: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 作品 22

トランペット: 稲垣路子 オルガン: 吉田文

マルティーニ作曲: トッカータ ニ長調

J.S.バッハ作曲: 《樂しき狩りこそ我が喜び》BWV208 より<羊らは安らかに草を食み>
マリンバ: 池永健二

J.S.バッハ作曲: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番ト短調 BWV1001 より フーガ
マリンバ: 池永健二、神谷紘実

E.セジュールネ作曲: デパーチャーズ

ソプラノ: 吉田珠代 ピアノ: 高橋早紀子

中田喜直作曲: 歌をください

ソプラノ: 吉田珠代 オルガン: 吉田文

フォーレ作曲: 《レクイエム》より<ピエ・イエズ>

ソプラノ: 吉田珠代 トランペット: 稲垣路子 オルガン: 吉田文

ヘンデル作曲: オラトリオ《サムソン》より<輝ける熾天使たちよ>

ヴァイオリン: 服部芳子 ピアノ: 掛川遼平

R.シュトラウス作曲: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 変ホ長調作品 18 より第 2,
第 3 楽章

第2部

指揮: 角田鋼亮 オーケストラ: 愛知室内オーケストラ

ベートーヴェン作曲: 交響曲第 7 番 イ長調作品 92

指揮: 角田鋼亮 オーケストラ: 愛知室内オーケストラ

コーラス: 愛知県立芸術大学 B.M.K.Chor オルガン: 吉田文

J.S.バッハ作曲: カンタータ第 147 番《心と口と行いと生きざまもて》BWV147 より第 6
曲コラール

チェロ: 天野武子 弦楽: 愛知室内オーケストラ

パブロ・カザルス編: 鳥の歌

<出演者プロフィール>



中村ゆかり::企画・制作／司会

愛知県立芸術大学音楽学部卒、同大学院修士課程修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程音楽学専攻在学中。専門は音楽学(西洋音楽史)。宗次ホール、愛知県芸術劇場コンサートホール、びわ湖ホール等各地で歴史的かつ現代的視座からクラシック音楽文化振興を目指したコンサートを企画、好評を博す。これまでに、コンサート・ノートや新聞紙上等の執筆活動に加え、音楽講座、演奏団体の運営や音楽を通じたアウトリーチ活動にも積極的に取り組むほか、NHK カルチャー、愛知大学、愛知県立芸術大学非常勤講師などを勤める。日本音楽学会、日本音楽知覚認知学会、関西楽理研究会各会員、愛知県芸 J.S.Bach-Musikkapelle シニア・アドバイザー。公式ホームページ <http://www.yukarinakamura.jp>



大瀧拓哉::ピアノ

1987年、新潟県長岡市出身。第10回中部ショパン学生ピアノコンクール大学生部門金賞、中日賞受賞。第8回ペトロフピアノコンクール大学・一般部門第2位。第3回野島稔・よこすかピアノコンクール第3位。マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽コンクール、メダル受賞。平成22年度愛知県立芸術大学優秀学生賞受賞。第20回大幸財団丹羽奨励生。2010年、愛知県立芸術大学ピアノ専攻を首席で卒業。桑原賞受賞。現在、同大学院音楽研究科2年在学中。これまでに内宮弘子、斉藤竜夫、松川 儒、掛谷勇三、ヴァディム・サハロフの各氏に師事。



トランペット: 稲垣路子

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。桑原賞受賞。卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会出演。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトV参加。2008年、第25回日本管打楽器コンクールトランペット部門第1位。2009年、第78回日本音楽コンクールトランペット部門第1位。岩谷賞、E.ナカミチ賞受賞。竹本義明、津堅直弘、武内安幸の各氏に師事。ブラスアンサンブル・ロゼメンバー。現在、日本センチュリー交響楽団トランペット奏者。



マリンバ: 池永健二

愛知県立芸術大学卒業。同大学院修士課程修了。『第 24 回＜東京の夏＞音楽祭 2008 フェスティバル・ガラ・コンサート』や、日本現代音楽協会主催『現代の音楽展 2009』、『富士山河口湖音楽祭 2010』等、数々の演奏会、音楽祭に出演。また NHK-FM『現代の音楽』に演奏が取り上げられ好評を得る。財団法人アリオン音楽財団 2007 年度＜アリオン賞＞奨励賞を受賞。これまでに、打楽器・マリンバを何森博子、今村三明、神谷百子、佐野恭一、深町浩司、池上英樹の各氏に師事。現在は山梨県河口湖に拠点を移し、大自然の中で日々勉強中。オフィシャルブログ『だがつき と ぼく』



ソプラノ: 吉田珠代

愛知県立芸大卒業及び同大学院修了。新国立劇場オペラ研修生とし 3 年間在籍。2006 年文化庁新進芸術家留学生としてイタリア・ボローニャに留学。仏・リムーザン音楽祭出演に続き、2010 年「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナ役で欧州オペラデビュー、「見事なオーラと歌唱で難役を演じ切った非の打ちどころのない歌手」と絶賛された。小澤征爾音楽塾「フィガロの結婚」では伯爵夫人カバーオーディションに合格。ローム財団からの助成を受けミュンヘンとウィーンに留学。



ヴァイオリン: 服部芳子

東京藝術大学付属高校、同大学を経て同大学院修了。1968 年ドイツ学術交流会奨学生としてハンブルク音楽大学に留学。1970 年メンデルスゾーンコンクール弦楽四重奏部門第 1 位(ベルリン)、旧全西ドイツ音楽大学コンクール、ヴァイオリン部門第 1 位(ミュンヘン)。1971 年ヴァイオリン・デュオでイザイメダル受賞(ブリュッセル)。16 年間のドイツ滞在中、オーケストラとの協演や、各地でのリサイタル等のソロ活動、また室内楽ではジャパン・ストリングトリオ、ボン弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。帰国後は愛知県立芸術大学において後進の指導に携わり、室内楽の分野においても多岐に亘る活動を行う。現在、岡山潔弦楽四重奏団メンバー。愛知県立芸術大学名誉教授。



マリンバ: 神谷 紘実

第8回 KOBE 国際音楽コンクール最優秀賞・神戸市長賞。第1回 SCPEF 国際マリンバコンクール第1位。国内外の招待リサイタルやマスタークラス等で高い評価を得る。現在(株)こおろぎ社専属アーティスト。愛知県立芸術大学音楽学部器楽(マリンバ)科専攻卒業、テキサス州立ノーステキサス大学修了。これまでにマリンバを石田まり子、神谷百子、M. フォード、R. シエトロマ、C. ディーンの各氏に師事。



ピアノ: 高橋 早紀子

愛知県立芸術大学卒業、同大学大学院修了。ピアノを丸田清恵、夏目芳徳、伊藤美江、北住淳の各氏に師事。ピアノソロのほか、伴奏者、アンサンブル共演者としても支持を集める。長野県長野市出身。



ピアノ: 掛川 遼平

愛知県立芸術大学および同大学院に学ぶ。下村美夕貴、兼重直文、加藤美緒子、V・サハロフの各氏に師事。ピアノソロの活動の他、アンサンブルピアニストとしても活躍。愛知県を中心に幅広く音楽活動を行っている。



指揮: 角田 鋼亮

1980年名古屋市出身。東京芸術大学音楽学部指揮科、同大学大学院音楽研究指揮専攻修了。ベルリン音楽大学国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。指揮を佐藤功太郎、松尾葉子、C・エーヴァルト、クルト・マズア各氏に師事した。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2010年、第3回マーラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。国内外で多くのオーケストラを指揮する

他、映画『のだめカンタービレ』での指揮指導、TV出演など多岐に渡り活躍している。



オーケストラ:愛知室内オーケストラ

2002年に愛知県立芸術大学出身の若手演奏家により結成された2管編成の室内オーケストラ。事務局運営を団員が兼任する自主運営によって活動しており、定期演奏会をはじめとした自主公演のほか、依頼公演、学校公演、室内楽コンサート、小編成アンサンブルでの出張演奏などの公演をおこなっている。最近では楽しい学校公演に一層の力

を入れているほか、ファミリー向けのコンサートや、ワークショップとコンサートを1日でおこなうイベントにも多数出演している。また2010年2月には、マイスターミュージック社より磯部周平指揮のCD〈モーツァルト〜クラリネット協奏曲〉が全国発売され、雑誌『レコード芸術』などでも取りあげられた。これまでに共演した指揮者は工藤俊幸、山田和樹、角田鋼亮、高谷光信、フォルカー・レニック、川瀬賢太郎、松尾葉子など。高いクオリティを追求しながらも一番身近なオーケストラを目指している。



コーラス:愛知県立芸術大学 B.M.K.Chor

愛知県立芸術大学J.S.Bach-Musikkapelleは、研究・演奏活動を通じて地元愛知県や地域社会へ文化的貢献を果たすことを目指し2002年に設立された音楽研究のための演奏団体で、国内外の音楽シーンで活躍する芸大教員と向学心溢れる学生有志、卒業生によるメン

バーからなる。顧問は愛知県立芸大声乐専攻大下久見子教授、副顧問は声乐専攻末吉利行教授、器楽専攻・弦楽器福本泰之教授。2012年初夏に定期公演を開催予定。



チェロ:天野武子

東京藝術大学音楽学部卒業後同大学大学院修士課程修了。在学中に安宅賞受賞。東京アカデミカー・アンサンブルのメンバーとして「ルツェルン音楽祭」「マントン音楽祭」「パリ音楽祭」「メニューイン音楽祭」等々音楽祭に招かれ、国内外でコンサートや放送を通じて活動。カリス弦楽トリオ及び弦楽四重奏団メンバーとして活動。愛・知・芸術のもり弦楽五重奏団メンバーとしても活動し

2011年CDをリリース。愛知県立芸術大学名誉教授

東北復興支援チャリティ映像上映会

この上映会では、今年5月に発表された、復興への第一歩を感じさせる短編映像作品と、岩手県北上市岩崎地区に伝わる民俗芸能「岩崎鬼剣舞」を記録したドキュメンタリーを合わせて上映し、復興への思いに結び付けます。

■上映日時 2011年7月23日(土) 14:00、18:00
24日(日) 14:00

■会場 アートスペースE・F (愛知芸術文化センター12階)

■主催 愛知芸術文化センター、財団法人愛知県文化振興事業団

■入場無料・定員 50名

入場時に義援金のご協力をお願いいたします。
尚、満席の場合は入場をお断りいたします。

■主旨

東日本大震災の現地における困難な状況は、TVニュースを通じて日々、私たちに届けられていますが、報道とは違う視点から、個人の映像作家による記録撮影の活動も並行して行われています。こうした活動が作品として、ある程度のまとまった形となるには、編集や整音などの作業をへるなど、まだ時間が必要ですが、デジタル機器の利点を生かして、短編という形で公開される作品も現れています。

この上映会では、今年5月に発表された、復興への第一歩を感じさせる短編映像作品と、岩手県北上市岩崎地区に伝わる民俗芸能「岩崎鬼剣舞」を記録したドキュメンタリーを合わせて上映し、復興への思いに結び付けたいと思います。

■上映作品

岡本彰生『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #01 ISHINOMAKI』2011年、5分、DV

映像作家・前田真二郎が企画したオムニバス作品『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』の一編。2011年5月4日に、宮城県石巻の避難所で開催された編み物ワークショップを撮影。地震と津波により瓦礫が山となった灰色の風景と、ワークショップで紡がれる毛糸の色の鮮やかさが対比をなす。災害時にアートによって出来ることとは何かを、観る者に想起させる短編作品。

三宅流『究竟の地－岩崎鬼剣舞の一年』2007年、161分、DV、愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第16弾

岩手県北上市岩崎に伝わる民俗芸能「岩崎鬼剣舞」取材したドキュメンタリー。鬼剣舞にたずさわる人々、この地域に生きる人々の姿を一年間に渡って捉えている。鬼剣舞は、農業や大工、あるいはサラリーマンとして勤めるなど、仕事をしながら、その合間をぬって皆で集まり練習を重ね、公演を行っている。また保育園や小学生では授業の一環として、また高校生では部活動としても行われるなど、あらゆる世代に浸透し、あたかもこの地域では生活と芸能が渾然一体となった様相を呈している。この映像作品により、東北地方の風土が育んできた独自の文化の豊かさに触れ、復興への誓いを確かめ合う機会としたい。



三宅流『究竟の地－岩崎鬼剣舞の一年』2007年

『プレ・コンサート 東北復興支援チャリティー とどけ！あいちの祈り、音の翼にのせて』

愛知県美術館の東北復興支援特別企画・棟方志功〈祈りと旅〉の開会を記念するとともに、7月21日に開催するチャリティコンサート「とどけ！あいちの祈り、音の翼にのせて」のプレとして、愛知県立芸術大学院生らが名曲コンサートを行ないます。

＜開催日時＞

2011年7月9日(土) 15時開演

＜開催場所＞

愛知県美術館ロビー(愛知芸術文化センター10階)

＜主催＞

愛知芸術文化センター

＜入場料等＞

無料

＜出演者＞

ソプラノ:高木彩也子(大学院在学中)

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻首席卒業。桑原賞受賞。同大学院修了。同大学卒業演奏会、第31回読売中部新人演奏会、同大学第1回同窓会岐阜支部セミナーにおいて演奏。これまでに五島由美子、大下久見子の各氏に師事。現在、同大学院音楽研究科博士後期課程に在学中。

ピアノ:金澤みなつ(大学院在学中)

2010年愛知県立芸術大学大学院博士前期課程を首席で修了。在学中から国内外のコンクールに出場し、第10回中部ショパン学生ピアノコンクール銀賞の他、2010年YBP 国際コンクール総合第1位、第11回大阪国際音楽コンクールAge-G第1位など。また、2008年よりムーランダンテ音楽祭(フランス)にてディプロム取得。現在、大学院博士後期課程に在学中。これまでにピアノを遠藤誠津子、大口光子、掛谷勇三、ヴァディム・サハロフ、松本総一郎の各氏に師事。

弦楽四重奏:

第1ヴァイオリン:足木かよ(大学院在学中)

第2ヴァイオリン:酒井愛里(学部4年在学中)

ヴィオラ:橋本歩(学部4年在学中)

チェロ:紫竹友梨(大学院在学中)

<プログラム>

メンデルスゾーン作曲: 歌の翼に 他

モーツァルト作曲: ≪アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク≫ト長調 KV525 より

第1楽章 アレグロ

J.S.バッハ作曲: 管弦楽組曲第3番ニ長調BWV1068より第2曲

<エール(G線上のアリア)>

モーツァルト作曲: ディヴェルティメント KV136

歌と弦楽四重奏による日本の夏の歌メドレー